

ホットニュース



前後町長から感謝状を受けるジェシカさん(左)

外国語指導助手感謝状贈呈式

ジェシカさんが退任 感謝状を贈呈

外国語指導助手(ALT)のヴァハラ・ジェシカ・マーガレットさんの退任に伴う感謝状贈呈式は7月23日、町役場で行われ、前後公町長がジェシカさんに感謝状と記念品を手渡しました。

ジェシカさんは米国カリフォルニア州の出身。昨年7月から1年間にわたり、町内の中学校で英語の授業の補助やスピーチコンテストの指導を熱心に行いました。また、学校行事やマラソン大会など町のイベントにも積極的に参加し、地域住民との交流を深め、誰からも愛される存在でした。

ジェシカさんは「日本での滞在は短いものでしたが、私の人生の中でも意義深い一年でした。私は猪苗代で家族同然の友人を得ることができました。美しい猪苗代で皆さんと一緒に過ごすことができ、感謝以外の言葉はありません」とお礼の言葉を述べました。

笑顔でこんにちは



大好きなママと一緒に「ハイ、チーズ」

朔也くんが笑うと家族みんなが笑顔になります。朔也くんは、青山家自慢のアイドルです。

青山 朔也 くん

平成29年6月生まれ
～大原
翔太さん・都さんご夫妻の長男

朔也くんは絵本が大好き。朔也くんのお気に入りの一冊は、実は、ママの都さんが子どもの頃お気に入りだった「シロクマちゃん」のホットケーキです。カラフルなイラストが好きな理由なんだとか。都さんは「この本は朔也に初めて買ってあげた絵本なんです」と笑顔で話します。

普段は祖母の純子さんと過ごす朔也くん。朔也くんは散歩するのが好きですが、最近は暑い日が続いて外に出られないので、純子さんと家の中で絵本を読んだり、おもちゃで遊んだりすることが多いそうです。

パパの翔太さんは「大きくなっても健康で元気に育ってほしいです」と話します。

元気いっぱい朔也くんから、ますます目が離せません。

※「笑顔でこんにちは」に掲載希望の人は広報担当まで申し出てください。
☎(62)2111

地域おこし協力隊通信



私たちが地域を元気に！
地域おこし協力隊

宮本 さやか さん

主な活動内容：有害鳥獣対策

毎年、夏になるとサルなどの野生動物による農作物の被害が多く発生しています。今年もドングリなどの実が凶作の予想であり、クマにおいては例年よりも出没が多い年と言われています。サルにおいては、昨年までは出没してはなかった地区にも行動域を広げ、場所によっては甚大な被害を出しています。町では、効果的な対策方法を「アグリいな通信」に毎月掲載していきますので参考にしてください。

野生動物からの被害を軽減するには「自分たちの地区は自分たちで守る」という意識が大切になってきます。最近では、サルの追い払いを町民の皆さんと共同で行ったり、電気柵を個人や集落で設置したりするなど、対策を積極的に実施する人が増えてきており、一部の地区では被害が減少しています。

町民の皆さんと行政が一体となり、協力し合っ対策を講じていくことが被害軽減への近道です。私たちはそのきっかけ作りや手助けができればと思います。

企画展

アクアマリンいなわしろ カワセミ水族館で企画展開催



「ゲンゴロウ絵描き歌」を披露する園児



園児に水生昆虫の生態を紹介する職員ら

アクアマリンいなわしろカワセミ水族館では7月14日から9月30日まで、企画展「サ対決・ゲンゴロウVSタガメ」カマキリ先生への挑戦状」を開催しています。

参加体験型展示では、ゲンゴロウとタガメを比較する五番勝負を展開。標本コーナーでは、水生昆虫の標本を約390種、約700点を展示し、ゲンゴロウは国内に生息するほぼ全てに当たる140種を展示しています。

また、ひまわりこども園の園児は7月18日、同水族館を訪れ、同水族館の職員らが制作した「ゲンゴロウ絵描き歌」を披露しました。園児は大きな歌声に合わせて、壁に貼られた紙に小さくさまざまなゲンゴロウの絵を描きました。

ひまわりこども園の園児による「ゲンゴロウ絵描き歌お披露目会」の様子は、企画展開催中に館内のモニターで上映されています。